

令和 6 年度 『内部評価』

父母と教師の会

旭川実業高等学校同窓会

校 長 宮下 靖広

教 頭 渡邊 知秀

教 頭 大村 慎（書記）

《学校運営》

- ・生徒、保護者ともに旭川実業高校の特色を理解し、高く評価している。
- ・生徒と学校、教員の関係が良好であることがうかがえる。
- ・生徒の A 評価の割合が高いことから、学校の雰囲気が良いであり、充実した学校生活を送っている様子がうかがえる。
- ・教職員は多忙な中でも、学校運営や教育活動に高い意識を持って取り組んでおり、大変心強く感じる。
- ・クラブ活動や学校行事は、非常に高く評価されている。
- ・学習面では、生徒への個別対応やコースごとの特色に関して、さらなる改善の余地があると考ええる。

《教育活動》

- ・A、B 評価が全体の 4 分の 3 以上を占めている点は高く評価できる。
- ・家庭学習のための小テストや宿題の設定については、やや物足りなさを感じる声もある。
- ・一部の保護者からは、子どもが学習面や学校生活について気軽に相談できる環境があるかという点に不安を感じるという意見が寄せられている。これらについてぜひ検討し、生徒・保護者・教職員がより安心できる学校づくりを進めてほしい。
- ・教職員のアンケート結果には、コロナ禍で自粛していた PTA・同窓会・地域との連携やボランティア活動が、十分に再開されていないとの意見が見られる。来年度以降、社会の状況を踏まえながら、時代に合った活動の充実を期待したい。
- ・進路指導に関する教職員の評価が低い点は疑問が残る。教職員自身で改善できるはずであり、職員会議などで議論し、より良い指導方法を模索してほしい。

※以上、関係者評価でいただいた意見をまとめました。

特に、来年度の各科年間計画・方針会議で上記意見を勘案し検討をしていき、今後の教育活動に活かしていきたいと考えます。